



PTR HONDA

Hikaru okubo 大久保 光

World Supersport Championship

round - 7 Magny-Cours October.3-4

予選 12 番手 レース1リタイヤ レース2 9位



スーパースポーツ世界選手権（WSS）第7戦は、フランスのマニクール・サーキットで開催されました。レースウィークに入った2日から4日まで、雨が断続的に続き、復帰レースである大久保光にとっては、生憎の天候となりました。

大久保は、第6戦はドクターストップがかかり、精密検査を受けるために欠場しました。検査の結果、転倒の影響で目を圧迫したことでしこりが残り、それが原因での体調不良のため1週間の安静と診断されました。身体を休めたことで体調は回復、今回も参戦でもチェックを受け、ドクターストップが解除されたことで復帰が叶いました。

約1ヶ月ぶりの復帰、バイクへの慣れ、レース感を取り戻すために走り出します。雨であること、コース改修を行った後と言う状況もあり、グリップ感を掴むことに苦心することになりました。それでも、予選12番手を獲得しグリッドに着きます。

レース1は、リアブレーキトラブルで、ピットインしリタイヤとなります。転倒を回避することを優先しピットに入ったことは懸命な判断でした。レース2では、入念なマシンチェックで挑み、4台による6番手争いを展開します。マニクールの長い直線で、2～3台にパスされてしまうという苦しい展開ながら、鋭いコーナーリング、ブレーキングで、バトルを展開し続けました。最終的には9位でチェッカーという悔しい結果となりますが、復帰レースを最後まで走り切ることが出来た充実感を、大久保もチームも感じる事が出来ました。

大久保光

「レース欠場で、たくさんの人に心配をかけてしまったことを申し訳ないと思っています。心配する箇所が目奥ということで大事を取りましたが、問題ないという診断で、その後の回復も早く、1週間の安静後には、トレーニングも再開して、今回のレースに備えました。久しぶりのレースで、バイク操作に、微妙なずれを感じ、それを修正するのに金曜日の走行を使いましたが、すぐに、戻すことが出来ました。レース1はトラブルで、このまま走行するのは危険と判断してピットに戻りました。残念でしたが、レース2で挽回しようと、気持ちを切り替えました。レース2決勝では6位になれるチャンスだったと思うと悔しさが大きくなりますが、復帰レースを9位。シンプルフィニッシュで終わられたことに、少し、安心しています。最終戦では、更に上位を目指すことが出来る手応えを感じてもあります。今年は、思うようにならないシーズンとなってしまいましたが、最後は、納得できるレースが出来るように、しっかり準備して挑みます」

※次回は、10月17日~18日開催の第8戦エストリス（ポルトガル）の報告をさせていただきます。